

# シルクロード ～旅の終わり 中国へ～

古来、中国と西アジア・地中海沿岸地方の交易路だったシルクロード。中国産の絹が主要な交易品であったためこう呼ばれています。遠くインドや西アジア、さらにはローマ帝国へと続くこの道は、交易品だけでなく、文化の交流にも重要な役割を果たしました。今回は、ついに旅の終わり、そして起点でもある中国の新疆ウイグル自治区、内モンゴル、西安、北京などをご紹介します。

**開催日** 11月5日(日) 13:30～15:00

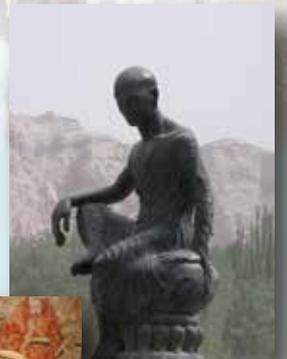
**受付** 開講時間の30分前から

**会場** リソル生命の森 フォレストアカデミー  
※駐車場に限りがございます。ご来場の際は相乗り又は日本メディカルトレーニングセンターの駐車場をご利用ください。

**受講料** リソル生命の森各種会員様 **無料**  
★今回は一般の方も特別に**無料**です

**定員** 30名 ※定員になり次第締切とさせていただきます。早めにお申込みください。

**お申込** 下記へお電話にてお申込みください。



古代エジプト壁画・ヒエログリフ(聖刻文字) 研究家 **村治 笙子**(むらじしょうこ)

古代エジプト壁画研究家 東京生まれ東洋大学文学部西洋史学科卒。  
ヒエログリフ研究会(現・古代エジプト研究会)でヒエログリフを学んだのち写真家の故仁田三夫氏とともに古代エジプトの壁画の紹介につとめてきた。国立博物館などの古代エジプト関係の企画展の監修、講演、図録の執筆など行う。古代オリエント博物館自由学校や朝日カルチャーで「壁画を読み解く」「ヒエログリフ解読」「世界の博物館で観られるエジプトの秘宝」講座を開く。  
著書に岩波新書『古代エジプト人の世界』、共著に山川出版社『ナイルの遺産』『ナイルに生きる人びと』、日本オリエント学会編『オリエント事典』岩波書店、『世界暦事典』朝倉書店、新装版『図説エジプトの「死者の書」』河出書房新社、『講談社の動く図鑑 MOVE 古代文明のふしぎ』監修(2017年6月)など多数。日本オリエント学会、西アジア考古学会、日本暦学会、世界遺産アカデミー、日本旅行作家協会、祭祀学研究会正会員として国内、世界を旅し、調査する。  
現在、杉並ユネスコ協会理事、ジャパンハーブソサエティ顧問。

